

鞠子宿

鞠子宿は静岡市の西端の東海道20番目の小さな宿場です。当日は「ヒロシゲ・ブルー」（安藤広重の“藍の使い方”を欧米では「ヒロシゲ・ブルー」と呼び多くの画家に影響を与えました。）の空の下、鎌倉時代から江戸時代の伝承等が残っている落ち着いた宿場の風情を楽しみながら歩きました。

今回コースの中で、安藤広重の東海道五十三次「鞠子宿」に“名ぶつ とろろ汁”の看板を掲げた茶屋が描かれたものや、とろろ汁を売る店が軒を連ねている様子を描いた「五十三次名所図絵」等の東海道五十三次「鞠子宿」のモデルとなった創業410年余の丁子屋で『とろろ汁』を昼食に食べるウォークを企画しました。

『梅わかな 丸子の宿の とろろ汁 （松尾芭蕉）』

参加者の皆さんからは「丁子屋ととろろ汁が良かった、今後も地元の名物の昼食を食べる企画にしてほしい。」「近くに住んでいるが初めて気がつく旧跡が多く、参加して良かった。」等の声もあり充実した楽しい1日となりました。

○実施日 平成24年2月4日（土）

○参加人員 61名

○距離 約10km

○コース

8:30 JR安倍川駅～手越河原古戦場跡の碑～少将井神社～松並木～地藏堂・万葉歌碑～一里塚～見付～問屋場～横田本陣～お七里役所碑～芭蕉句碑～十返舎一九の碑～丁子屋（昼食）～高札場跡（見付）～細川幽斎歌碑（丸子川の碑）～馬頭観音～道標（本多忠栄）～駿府匠宿～吐月峰柴屋寺～丸子の里自然歩道・丸子城址～誓願寺～日本紅茶発祥の地～多田元吉の碑～起樹天満宮～長源寺～15:00 赤目ヶ谷バス停（解散）

○主催

中部建設協会 静岡支所

○ウォーク状況



少将井神社



とろろ汁の丁子屋